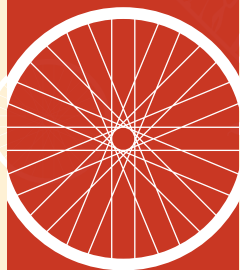




終点の先へ、何度でも。
自転車分解！ワークショップ

2024年3月2日（土）
会場 / 玉野競輪場 正面入口よこ



自転車の先へ、何度でも。 自転車分解！ワークショップ

放置自転車に熱して叩いた鉄を溶接し、
新たな自転車に再生させた作品「**終点の先へ**」

自転車はレンタル可能で、宇野港周辺で
風を切ってサイクリングできます。

2024年3月2日(土) 10:15~12:15

- 会場 / 玉野競輪場(正面入口よこ)
- 料金 / 無料
- 対象 / どなたでも
- 定員 / 10名程度



この自転車たち(10台)には名前がついていることをご存じですか?「児島丸」「瀬戸丸」「伊予丸」「土佐丸」…ここまで聞いて「おや?」と思った方。そう、かつて宇野港に就航していた連絡船の名前です。自転車をよくみると後輪の上にアルファベットで名前が!そして自転車の色もかつてのそれぞれの連絡船のカラーイメージで塗装されています。実は「終点の先へ」という作品名は終点の「宇野駅」からその先の海へ繋がっていた連絡船航路へ想いを馳せていたりもするのです。連絡船がなくなって三十年以上たちますがこのレンタサイクルに乗ってあなたの「終点の先」を見つけに行きましょう!

さて、この実際に体験できるアート作品も潮風や太陽にさらされ少しくたびれてました。そこで、お色直しを行います。お色直しに向けて作家の小沢敦志さんと一緒に「自転車分解」しましょう。皆さんと分解した自転車はその後、サビ取りや塗装がなされ、組み立てなおして安全面もチェック!して再び宇野駅の西側に並ぶ予定です。

お問い合わせ: 玉野市商工観光課(TEL 0863-33-5005)
主催: 瀬戸内国際芸術祭たまの☆おもてなし推進委員会
協力: 玉野市競輪事業課

小沢 敦志 (おさわ あつし)

鉄の廃材を加熱して叩くことで生まれる有機的な表情は、人工物が自然物に還る姿である。それらは成長する彫刻として、ワークショップを経て土地や人との結びつきを強めていく。

- 【主な作品・展覧会など】
- 2014「樹憶」(東京)
 - 2014「いちばらアート×ミックス」(千葉)
 - 2013「瀬戸内国際芸術祭 2013」(岡山)
 - 2010「一冊の街」(東京)
 - 2009「越後妻有アートトリエンナーレ」(新潟)

